

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成29年3月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要
【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。

〔「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数〕

前月比

- ➡製造業では、売上高において「増加した」業種は6のまま変化なし。「減少した」業種は4から2に減少。
- ➡非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から15に増加。「減少した」業種は14から7に減少。
- ➡業界の景況では、「好転した」業種は5から4に減少。「悪化した」業種は9から7に減少。

前年同月比

- ➡製造業では、売上高において「増加した」業種は3から2に減少。「減少した」業種は10から8に減少。
- ➡非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から7に増加。「減少した」業種は14から9に減少。
- ➡業界の景況では、「好転した」業種は4のまま変化なし。「悪化した」業種は15から13に減少。

製造業

■しゅう油製造

【県内全域】

HACCP義務化の流れに対応し、醬油業界も講習会等に対応を開始した。但し、中小・零細企業が多い業界なので、一律実施は無理。今後、行政との協議は大変重要であると思う。

■製材

【県内全域】

全体的に動きは鈍い。特に和室に使用される部材が全く売れなくなった。

■製材

【木更津】

3月入港なし。南用材の輸入原本取り扱い事業は3月末をもって終了予定。

■印刷

【県内全域】

業界の変化について

1. 県内の業界は低迷が続いている。

2. 紙の出荷量が減ったにも関わらず価格上昇の兆し。

3. 官需の不公平を是正する動き有り。

■鉄工

【千葉】

景況の変化について、引き続き先行きの不透明感は払拭できず、横這いの状況が続いているが、一部には今後の競争力強化の為に設

備投資を検討するなど、前向きな姿勢も見受けられる。

■機械部品製造

【野田】

景況の変化について、年度末ということもあって、前月より売上増だが、前年同月比で見るとマイナス。組合の事業活動等について、次年度に向けて各委員会にて事業計画の見直しを行った。外国人研修生受け入れ事業についても、次年度以降計画している。

■機械部品製造

【流山】

景況の変化について、悪い状況ではないが、良い状況でもなく、対前年比では売り上げは下がっているようである。

■機械部品製造

【柏】

2月から動きが継続的に進展。案件は増加しています。

■金属製品製造

【船橋】

昨年10月頃より、生産台数が増加し、現在ピーク時に近い状況で推移している。

■採石業

【県内全域】

平成28年度の是機材の出荷は前年度と比較して6割強と厳しい状況である。平成29年度は東京港の見通しが未確定の中で、横浜港の南本牧始め本牧地区などで事業が予定されており期待している。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【事務機器・事務用品】

例年なら2～3月は受注が増加するが、今年は業務卸関係の受注が景気のやや後退の影響か伸び悩んでいる。年度の後半から、パート従業員等の出人不足が現れてきている。

【食肉卸売】 【千葉市他】

豚の病気（PED）再発で今後のと畜頭数が減少することが懸念される。

【リサイクル卸】 【県内全域】

景況の変化は、輸出が好調。ただ、発生が少ないため売上に繋がらない。

【建築材料卸売】 【県内全域】

千葉県内の需要は極めて低迷。回復力乏しい。マンション売れない。外環工事ほぼ終了。倉庫群工事一段落。官公需停滞となると新年度も景気回復はほど遠い。

【自動車解体】 【県内全域】

前月に続きスクラップ価格は続伸。廃車発生台数は年度末でもあり、多くなっている。

【乾物卸売】 【県内全域】

景況の変化は、変わらず低調。

組合の事業活動等は、千葉海苔のキヤッチフレーズ「ちよつと贅沢ずつと ちば海苔」に決定。今後関係者が連携し、店頭やイベント時のPRに使用するのほりやポスター等製作中。

【卸売】 【茂原】

大企業ではベースアップで好景気配がありますが、中小企業はまだまだ時間がかかるし地方に及ぶまでも時間がかかる。政府も好景気とおおっているように見えるが、現実には厳しいと思われる。

【電気機器小売】 【県内全域】

景況の変化について、新聞に入るチラシの枚数が減り、量販のチラシも減り、元気なのはテレビ通販のジャパネットたかたで、話にならないほどの安売りをしている。景況は相変わらず厳しい。

【青果小売】 【千葉】

主力商品のみかんが少なくなくなり、商品の入替時期となっている。売り上げはさほど下がらず、推移している。イベント事が多くなる時期なのでさらに伸びることに期待している。

【中古車仕入・販売】 【県内全域】

中古自動車の市場流通台数が増加傾向。

【小売】 【東金】

景況の変化について、ファッ

ション関係は、新入学、新社会人関連品の動きは例年通りだが、単価が若干下がっている。食品関係は、売上・客数ともに減少傾向。飲食は、少しずつ改善傾向にある。家庭用品、文化用品は低迷。全体的に、まだまだ厳しい感が続いている。

【小売】 【野田】

景況の変化は、売上が思うように伸びず、厳しい状況に変わっているが、イベントの開催などで集客アップをはかっている。

【小売】 【県内全域】

今月も野菜高騰のため、売上高は増加したが、相変わらず景気は悪くなる一方である。

【小売・サービス】 【柏】

景況の変化について、短期間なので深くはわからないが、3月に入り商店街に暖かい日には出てくるが寒いと人出が少ない。この月の特徴であるが、良い日と悪い日が極端に違う気がする。業界の動きについて、春物は短期決戦であるが、品揃えが深く追えないので当たり外れが極端に出る、やはり水物である。メーカー的には、在

庫調整していて不良在庫一掃に躍起。

【学習塾】 【県内全域】

春期講習会に入り、卒業生の穴埋めが期待される月である。

【建設】 【浦安】

景況の変化について、市川市公共工事の29年2月受注状況。①建築0件②土木5件。組合の事業活動等について、2月分の市川市の建築0、土木工事が前月から大幅に減少する。

【貨物運送】 【野田】

3月に入ったが思ったより輸送量が増加していない。業界動向は、宅配事業者の値上げが決まり配達時間の見直し等も行われだしました。サービス向上と安全確保のバランスを考えたニーズ喚起に期待したい。

【輸出入】 【県内全域】

景況の変化について、3月の売上は前月比、前年同月比は不変であった。

